



国立大学法人  
長岡技術科学大学  
Nagaoka University of Technology

# 地域防災実践研究センター構想について

2021年3月

国立大学法人長岡技術科学大学



# 防災に関する本学の取り組みの方向性

- 本学は、これまでも防災に関する様々な研究を実施してきました。
- 本学は、このような実績を踏まえ、**学内設備を有効活用し、防災に係る様々な研究を産官学連携にて実施**するとともに、開発された技術の**社会実装に関する実データを取得**する場所を「**地域防災実践研究センター**」として整備する計画です。
- この研究センターでは、防災の経験や知識、研究成果を集約・融合し、**新潟県における防災の「知の実践拠点」**を目指した取り組みを行う予定です。
- このような取り組みは、「**新潟県総合計画**」の**実現**に資するものでもあり、今後さらに地域と連携した防災研究とするために、**新潟県、並びに長岡市とその周辺地域とも連携**して、取り組みを進めて行く計画です。
- また、水害に強い場所に立地し、通信や先端設備が既に存在する本学の利点を活かし、将来は**地域の緊急時対応機能のBCP対応拠点**としての機能付与も想定し、計画を進めてまいりたいと考えております。
- つきましては、産官学連携基盤を構築するために、地域のインフラ設備を担っておられる組織の皆様にも、この研究センターにご参加いただきたいと存じます。

# 「新潟県総合計画（平成31年3月）」への貢献

- ① 安全に安心して暮らせる新潟
  - A) 一段加速した防災・減災対策の推進
  - B) 安全・安心な地域を支える基盤づくり
  - C) 豊かな自然・環境の保全と未来への継承
- ② 活力ある新潟
  - A) 挑戦する人や企業が生まれ、集まる環境の整備
  - B) 多様な雇用の場の確保と働きやすい環境づくり
  - C) 魅力あるまちづくりと定住の促進
- ③ 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟
  - A) 将来の夢や希望を育みかなえる教育の推進
  - B) 地域の産業・社会を支える人づくり



技科大内に  
**防災における「知の実践拠点」**  
を作りたい

## • 地域防災実践研究センターの基本機能

(知の実践拠点)

① 災害対応技術の実践研究機能

② SDGs、防災の人材育成に関する機能



## ① 災害対応技術の実践研究機能

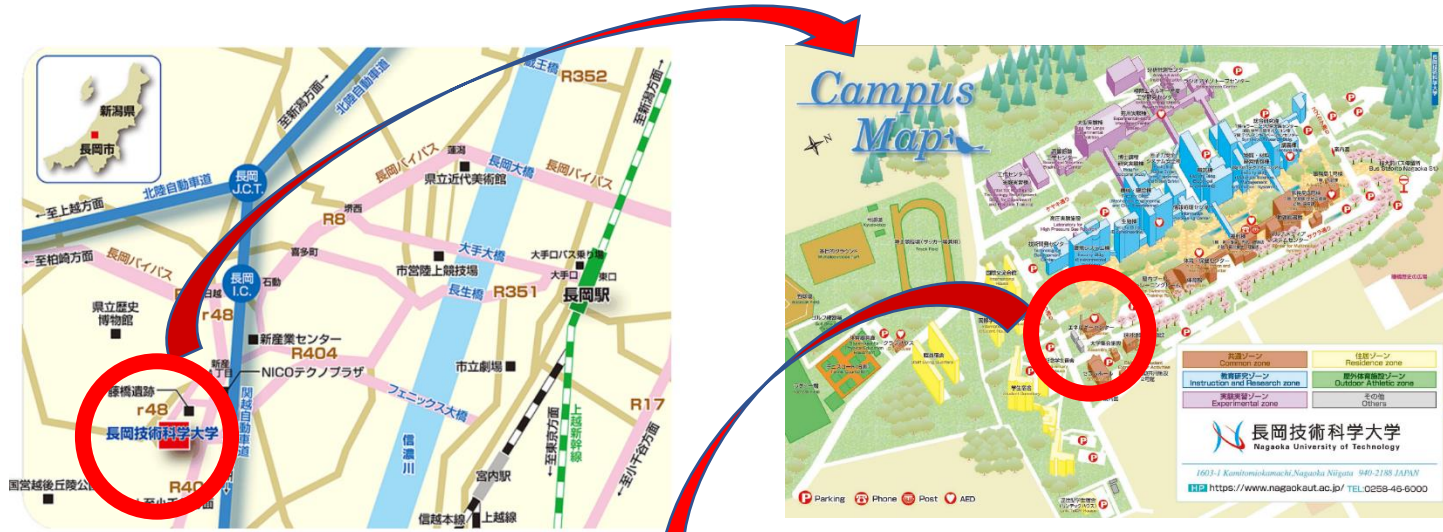
- A) 防災に関する研究開発（産学連携・アカデミーの連携）
- B) 研究成果の実装（電源、水、データベース構築、ロジスティックス、等）
- C) 防災産業クラスターへのシーズ提供からハブ化へ（研究成果の製品化）

## ② SDGs、防災の人材育成に関する機能 （防災ワクチン™実装）

- A) 地域の学生・生徒のSDGs・防災教育に関する研究
- B) 地域の学生・生徒への防災教育の実施
- C) 地域社会への防災教育・訓練への協力
- D) 防災シニアリーダー、防災リーダー育成支援

# センター候補地

既設の安全科学推進会館を改修  
(時間と費用をセーブ)

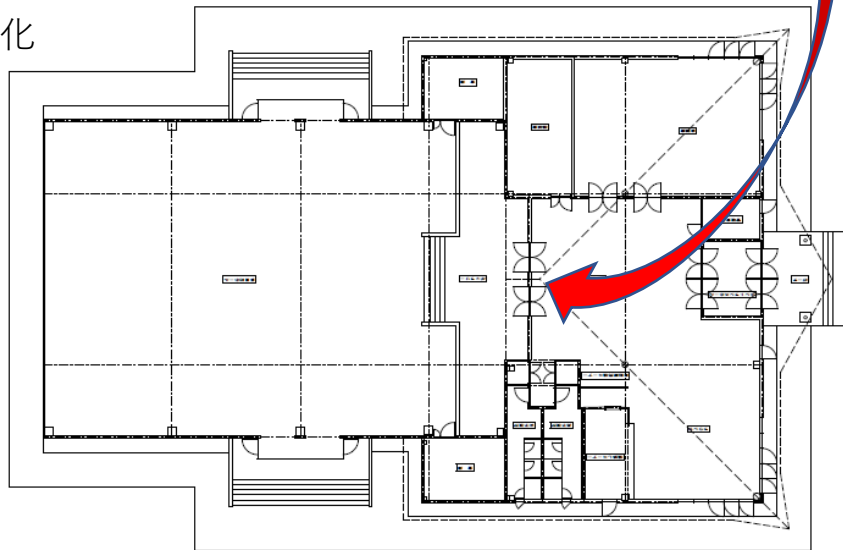


# 地域防災実践研究センター設立に向けた改修（案）

## ① 災害対応技術の実践研究機能

## ② SDGs、防災の人材育成に関する機能

- ・ 研究室設置（間仕切り）
- ・ 実装設備導入
- ・ バリアフリー化



- ・ 演習室設置
- ・ 会議室設置

基本機能に加え、以下の機能整備を想定する

③ 実際の災害対応に関する支援機能

- A) 新潟県・長岡市及びその近隣地域の防災対応機能の代替基地
- B) 非常用電力、通信機器等のインフラ整備
- C) 資機材の備蓄センターとその物流確保
- D) 避難者用飲料水、生活水、食料の備蓄



# 地域防災実践研究センターの当面の組織と機能（案）

